

こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

パウロの  
びっくりするよう  
なたび



<sup>ぶん</sup>  
文: Edward Hughes

<sup>え</sup>  
絵: Janie Forest

<sup>かいさくしゃ</sup>  
改作者: Ruth Klassen

<sup>ほんやくしゃ</sup>  
翻訳者: Yuko Kajiki

<sup>しゅつぱんしゃ</sup>  
出版社: Bible for Children  
[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

©2010 Bible for Children, Inc.

<sup>きよか</sup> <sup>たにん</sup> <sup>う</sup> <sup>かぎ</sup> <sup>はなし</sup> <sup>また</sup>  
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、  
<sup>きよか</sup>  
許可されています。



パウロとシラスは、イエスさまの申し。

<sup>なか</sup>  
ろうやの中にいますね。なにか、  
わるいことをしたのかな。いいえ、  
なにひとつ、わるいことをしていません。

<sup>ふたり</sup> <sup>おんな</sup> <sup>ひと</sup> <sup>なか</sup> <sup>あぐれい</sup>  
二人は、女の人の中にいた悪霊をお  
<sup>だ</sup> <sup>ぞう</sup>

い出したのです。そして、ぐう像を  
<sup>れいはい</sup> <sup>ひとびと</sup>

礼拝しているフィリピの人々に、  
<sup>かみ</sup> <sup>こ</sup>

ほんとうの神さまと、み子イエス  
<sup>ちから</sup>

さまの力を見せました。

でも、そのた  
<sup>ふたり</sup>

めに二人は、  
つかまってし  
まいました。

むちでうたれ、  
ろうやにとじこ  
められています。





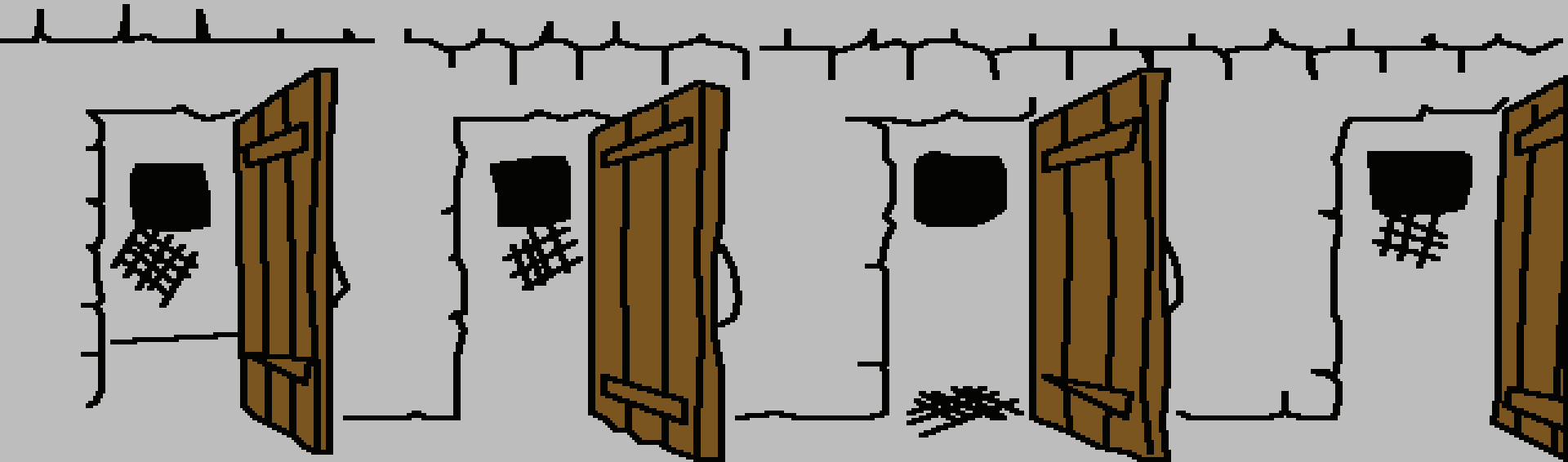
みなさんは、ひょっとして、  
おも  
こう思っているかもしれません  
ね。パウロとシラスは、ひどいこ  
とをされておこっていると。いえ  
いえ、そうじゃありません。

ふたり よなか  
じつは、二人は、ま夜中もずっ  
かみ さんび  
と、おきたまま。神さまへの賛美  
のうたをうたっていたのですよ！

い  
ろうやに入れられているほかの  
しゅうじん み  
囚人も、ろうやの見はりばんも、  
さんび  
みんな賛美のうたを、きいていま  
すね。



とつぜん、うたがやみました。あつ、じしんです。<sup>かみ</sup>神さまが、じしんをおこされて、ろうやをゆさぶりました。ろうやの入り口が、みんなひらいてしまっていますね。そして、<sup>しゅうじん</sup>囚人たちのくさりも、みんなはずれています。





うわあ、どうしよう！見はりばんは、おもいました。  
このさわぎで、ろうやに入れられた人は、みんなに  
なげってしまったにちがいない。もし、一人でも  
にがしてしまうと、見はりばんは、  
死のぼつをうけるでしょう。かわ  
いそうな見はりばん。かれは、  
じぶんの刀をぬきました。  
じぶんで死んだほうがいい。  
それで、なにもかも、おしま  
いにしてしまおうと、おもい  
ました。



けれども、そのときパウロが、大<sup>おお</sup>ごえ  
でさげびました。「やめなさい、じぶん

<sup>し</sup>で死んではいけない。わたしたちは、  
みんなここにいる。」えっ、ほんとう  
だろうか。かれらが、そこにいると

わ<sup>み</sup>かった見<sup>い</sup>はりばんは、言いました。

「先生、<sup>せんせい</sup>すくわれるには、どうしな  
ければいけないのでしょうか。」

そこで、かれらはこたえました。

「主<sup>しゅ</sup>なるイエスキリストを、信<sup>しん</sup>  
じなさい。そうすれば、すくわ  
れるでしょう。あなたもあなた  
のかぞくも、すくわれるのです。」

こたえをきいた見<sup>み</sup>はりばんは、

大<sup>おお</sup>よろこび。すぐ<sup>しん</sup>に信  
じましたよ。





さて、つぎの日です。ろうやから出たパウロとシラスは、いろいろな町を、たびまわして回り、イエスさまのことを人々につたえました。ある人たちは、イエスさまを信じ、また、ある人たちは、二人のじゃまをしようとしてしました。けれども、神さまは、しもべたちのそばに、いつもいてくださいます。ある夜、パウロは、なんじかんも神さまについておしえていました。一人のわかい男が、あいているまどにすわって、はなしをきいていますね。あれっ、すっかりねむってしまったようです。あっ、あぶない、おちそうですよ。みなさん、その人がどうなったか、そうぞうできますか。

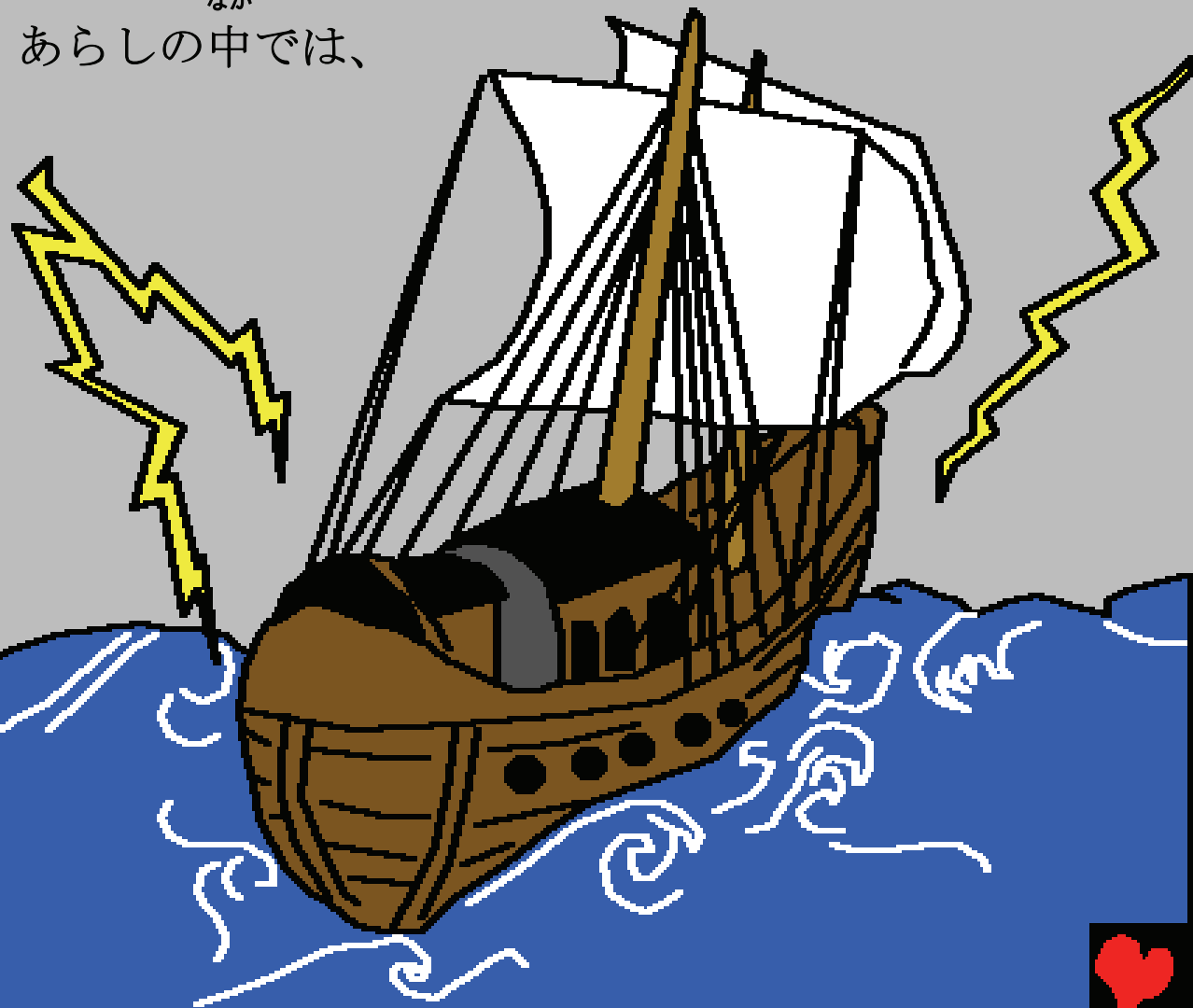


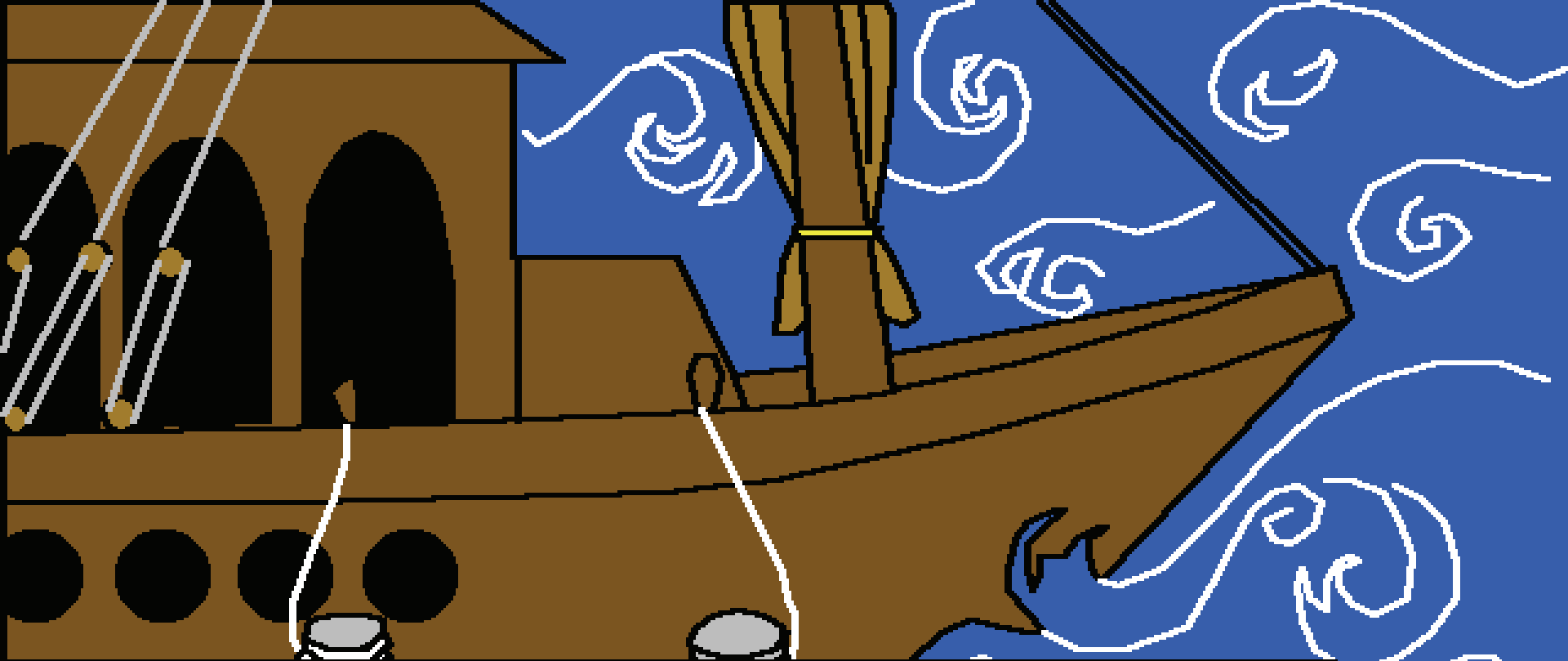


ああ、かわいそうに。みんなは、  
そのわかものは、死<sup>し</sup>んでしまった  
ことが、わかりました。けれど  
も、パウロはどうしたでしょう。  
下<sup>お</sup>りて行き、わかものをだきよ  
せ、言<sup>い</sup>いました。「かれは、生き  
て<sup>い</sup>いる。」そのとき、人々は、  
そのわかものが生きかえったとわ  
かったのです。みんな、よろこび  
でいっぱいです。



ヨーロッパをたびしながら、パウロとシラスは、たくさんのぼうけんをしまし  
た。パウロの <sup>ひと</sup>すばらしいぼうけんの一つを、おはなししましょう。パウロが、  
<sup>ふね</sup>船にのっているときです。その船は、<sup>ふね</sup>がんじょうで大きいものではなく、帆を  
<sup>ちい</sup>はっただけの小さいもの。あらしの中では、  
<sup>あ</sup>上<sup>さ</sup>がったり下<sup>さ</sup>がったり、  
はげしくゆれますよ。





ふね

パウロは、その船ふねにのっていました。なぜなら、また、つかまえられて  
しまったからです。かれは、ローマの皇こうていのところへ、いかなければな  
りません。ローマは、そのころ国々の中心の町くにぐに ちゆうしん まちでした。はげしいかぜがふき、  
船ふねはのろのろ。あっ、止とまってしまいましたね。あらしがやってきそうです。  
パウロも、ほかの囚人しゆうじんたちも、船ふねではたらく人ひとたちもみんな、そのたびは、  
ほんとうにたいへんでした。



「みんな、きいてください。船は、このひどいあらしで、だめになってしまおうでしょう。」パウロは、みんなにつよく言いました。でも、船長は、パウロの言うことなどききません。そのまま海をすすんでいきます。ものすごく大きいあらしが、おそってきました。うわあ、たいへんだ。みんなは、船をそこからロープでまき、しっかりくくりつけました。これで、船がバラバラになりませんように。もし、船がこわれてしまったら、みんな、海のなかで、死んでしまいます。



ふね うえ した みぎ ひだり

船は、上や下に、右や左にぐらぐら。あまりはげしくゆれうごくので、

せんちょう

めい

ふね

船長は、みんなに命れいしました。「船を、かるくするんだ。」

みっか

ふね

三日めに、みんなは、船のようぐを、

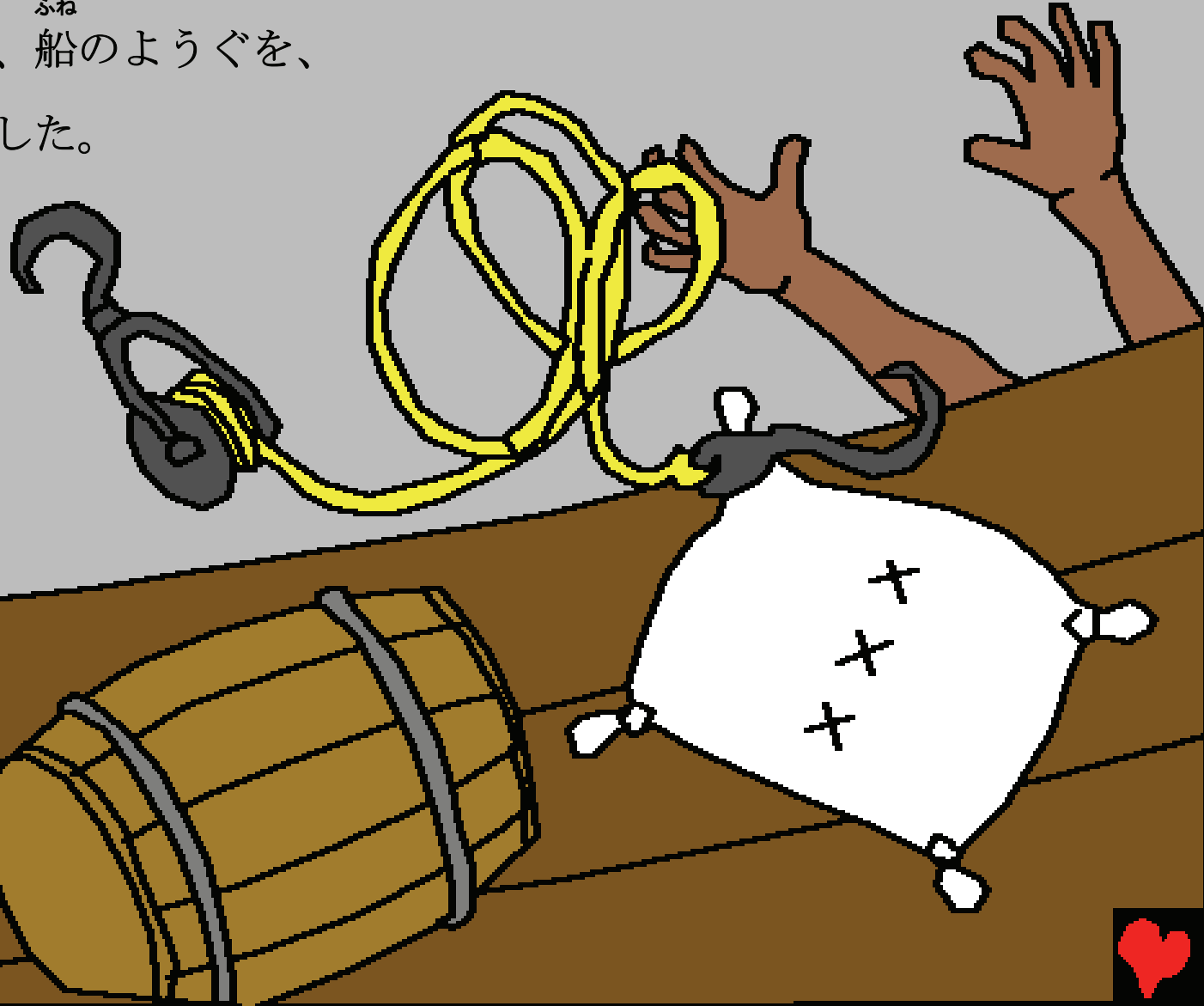
うみ

海にすててしまいました。

もしかして、

これでうまくいく

かもしれませぬね。



よる てんし た  
夜のあいだ、天使がパウロのそばに立って、つたえました。「だいじょうぶ。  
すべてうまくいきます。」そして、パウロが、みんなにつぎのように言ったと

き、みんなはゆう気がわいてきました。「さあ、みんな、

げんき かみ しん  
元気をだして。わたしは、神さまを信じています。

かみ い  
神さまの言われたようになるのです。しかし、

わたしたちは、 しま あ  
かならずある島にうち上げ  
られるはずです。」



なん日か、たちました。船はマルタ島のちかくを、ながさ  
れていったかと思うと、ドシン。水のあさいごつごつ  
した岩にぶつかり、ばらばらになってしまいました。  
船長は、めいれいしました。「さあ、およげる者が、  
はじめに海にとびこんで、りくに上がれ。のこりの  
者も、うまくにげろ。板きれにのったり、こわれ  
た船のはしにつかまったりするんだ。」



とう かみ

かみ ちから

ここはマルタ島。神さまは、ここで神の力をみせら

び

れました。あたたまろうと、みんながたき火をしている  
ときです。まむしが、パウロにかみついたのです。

し

ひとびと

うわあ、たいへんだ。きっと死んでしまうだろう。人々  
は、そうおもいました。でも、パウロは、ぴんぴんし  
ていますね。まむしのどくなど、へっちやら。

しま ひとびと

かみ

そこで、島の人々は、パウロは神さまだと

き ひと

おもってしまいました。びょう気の人が、  
つぎつぎパウロのところにやってき

いの

ました。パウロが祈ると、

かみ

いの

神さまは祈りにこたえてく

ひとびと

ださり、人々をすっかりな

おして

くださ

いました。





とうとう、パウロは、ローマにつきましたね。でも、パウロのさいばんがはじまるまで、それから2ねんいじょうも、かかったのです。そのあいだ、パウロはいえをかりて、たずねてくる人<sup>ひと</sup>たちを、よろこんで出むかえました。さて、みなさん、パウロはその人<sup>ひと</sup>たちに、なにについてはなしたか、わかりますか。

もちろん神のみ<sup>かみ</sup>国<sup>くに</sup>！主なるイエスキリストです！パウロは、ローマでも、ほかのどんなところでも、いつでも神さまのよきしもべですね。



「わたしは、たたかいは、りっぱにたたかってきました。わたしは、そのみち  
を、走りとおしました。そして、信こうを、まもりつづけました。」パウロは、  
ローマから、でしにこのてがみを書きました。聖書には、パウロの一生が、どの  
ようにおわったか書いてありません。けれども、ほかのきろくに、パウロは、皇  
ていネロのめいれいで、ローマで首を切られたと書いてあります。いつも、つよ  
い信こうをもっていた神さまの

しもべパウロは、生きてい

たときと同じように、  
死んでいきました。

人々にイエスキリス  
トについて、はなし  
つづけた人でしたね。



# パウロの びっくりするよなたび

かみ み せいしょ する  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

しと しょう しょう  
使徒のはたらき 16 章、27-28 章、  
てがみ に しょう  
テモテへの手紙二 4 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、  
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、  
おも  
思っています。

かみ わたし かみ  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、思っています。それを、神さま  
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ あい ひとり こ  
けれども、神さまは、あなたをととても愛していますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ  
よ おく つみ じゅうじかじょう な  
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども  
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさ  
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま  
いま ところ き なか す  
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ  
まといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。  
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な  
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ  
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて  
わたし なか き つみ わたし いま  
いらっしやいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた  
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいる  
いのち ところ い こ い  
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす  
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ  
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

